



自己管理能力格差

先日の部分日食の時、実は遮光板を持ち歩いていたのですが、私が観察しようと思っていた場所ではとうとうお日様は顔を出してくれませんでした。みなさんはどうだったでしょうか。

さてこの数ヶ月は、テレワークやリモート授業が続き、長い時間を自宅で過ごした方も多かったのではないのでしょうか。少しずつ日常が戻ってきてはいますが、まだまだ油断はできません。将来確実に歴史の教科書に載るであろう経験を私たちは今しているわけですが、アフターコロナの日常がこれまでとは異なることは間違いなさそうです。もちろん感染防止のための新しい生活様式をしていくことも大切ですが、「いつ何をやるのか」を意思決定する力がアフターコロナの格差につながることも予想されます。どういうことかという、これまでの仕事はスケジュールがあらかじめ決まっていた、報告や指示もリアルタイムで行われていたと思います。それがこれからは、自分で時間をやりくりしながら最大限の成果を出すことが求められるようになってくるのではないのでしょうか。そして同じことが仕事だけでなく、学習の場においてもいえるでしょう。自己管理能力の差がそのまま成果や成績に反映されてしまいそうです。

ではどうすればその差を縮められるかを考えてみましょう。見通しを持ってスケジュールを立てる力、無理のない範囲で自分で自分をコントロールしながら実行する力をつけることです。そこがうまくいかない人はどうも「何か気になること」があるとそればかりに気をとられて、他にやらなければならないこととのバランスを考えられないようです。例えば急に「化学反応式のプリントちょうだい」と言われて理由を聞くと「明日、小テストがあるのに全然覚えられないから」という返事。小テストのことは前からわかっていたのに、化学反応式が苦手を手をつけられなかったようです。「だってその前にあった英単語のテストの勉強してたんだもん」と弁解します。これからは目の前のことだけでなく、見通しを持つこと、そして「さて今日もう一つやることは…」と切り替えて実行することです！